

院長の履歴書④

開業編

小児科はこどもの内科、内科はおとなの内科、どちらも内科、年齢の違いだけ、年齢によって考えるべき病気が異なるのは小児科も内科も同じ、小児科は発達、成長という特殊な状況下にある、内科は老いという特殊な状況にある。似ています、というか考え方は同じです。そりゃそうです。同じ内科ですから（すいません、あくまで私見です）。

これまで医師として丸 14 年間働いてきましたが、そのうち小児科医として 10 年、内科医として 4 年を過ごしました。 医院では小児科のみならず内科も診ます。つまり生まれたての赤ちゃんからお年寄りまで、「これぞ総合内科！」を目指したいと思っています。どんな些細なことでもご相談いただけるような医院を作り上げたいと思っています。

うなて医院の場所はイオンモール橿原（我々奈良県民にとっては「アルル」のほうが分かりやすいかもしれません…）の少し南側、ぼかぼか温泉さん、スシローさん、吉岡歯科さんの近くです。4 車線の広い道路を走っていると見えると思います。黄色の看板文字が目印です。エコ薬局さんが隣にあり、駐車場は 15 台分用意しています。第 2 駐車場も整備中です。

「うなて医院」の由来ですが、橿原市雲梯町（うなてちょう）が由来です。医院名は自分の名字にしようかとも考えましたが、結局は地名を選びました。“うなて”にした理由は・・・

“音のひびきがいいなあ”

“電話対応時に言いやすそう”

“ひらがなで書いたら、なんか柔らかい感じがするなあ”

“文字数が 3 文字で少ない”

“雲梯町は私にとって第二の人生の出発地点だ”

“雲梯町という町の存在と、この土地で開業させて頂くことに対する感謝の気持ちを込めて”
・・・といった感じです。

“クリニック”か“医院”か“診療所”か・・・どれにするかも悩みましたが、“医院”にした理由は・・・

“最近クリニックという横文字が流行ってるからなあ、あえて少数派の名前がいいかな”

“日本人にはやっぱり『和』な感じがイイ”

“『医』という文字”

“シンプル・イズ・ザ・ベスト”

“昔の、病気の種類や臓器といった枠にとらわれない、『人を診る』というニュアンスを感じた”

・・・といった感じです。

その他候補として、たけしたクリニック、たけした小児科内科クリニック、よしひろクリニック、うなて診療所、たけした医院、など色々ありましたが、気づけば、発音時の文字数は最小限にでき、シンプルで、個人的にはとても気に入っています。

最後に、うなて医院のロゴのお話です。

うなての“て” → “手”。下側の手は我々医療者の手。真ん中の笑顔のハートちゃんは、医療者が患者さんに提供する心、エネルギー、スタッフや患者さんの笑顔を表現。上側の手は笑顔のハートちゃんに救いを求める患者さんの手。色はデザイナーさんに決めてもらいましたが、後でよくみると、青は生命の源である“海”を、緑は地球上の“木々”にも見えますね。真ん中の笑顔のハートちゃんがカワイイですね、個人的にもお気に入りのロゴです。

開業地探しから始まり、土地オーナーさんへの挨拶、医院名の決定、ロゴの決定、開業日の

決定、建築士との間取りの相談、ホームページの立ち上げ、電子カルテの選定、医療機器の選定、什器選定、予約システムの導入、オープニングスタッフ募集の面接、オープニングスタッフを迎え入れての研修の日々、内覧会、・・・などなど、開業までの間数えきれないほどの業務が押し寄せてきました。開業を決意してからは、まさに“怒涛の日々”でした。

家族に医療関係者がいるわけではありません。

幼少時期から受験戦争を経験したわけではありません。

進学校で勉強したわけではありません。

多様に乏しいといわれる医者の中で一味違う観点から医療を提供できれば本望です。

体調が悪ければ“笑顔のハートちゃん”が目印のうなて医院へ遠慮なくご相談下さい。

皆さま、どうぞ“うなて医院”をよろしく申し上げます。



2019年（令和元年）6月1日